告

壶

○道路運送車両の保安基準及び装置型

省

令

目

式指定規則の一部を改正する省令

(国土交通八一)

○道路運送車両の保安基準第五十六条

を改正する告示 (同一〇〇三)

七

第一項に規定する国土交通大臣が告

示で定めるものを定める告示の一部

○道路運送車両の保安基準第五十七条

を改正する告示 (同一〇〇四)

第一項に規定する国土交通大臣が告

1

項を定める告示の一部を改正する告 定の適用関係の整理のため必要な事

(同一〇〇六)

○道路運送車両の保安基準第二章の規

を改正する告示 (同一〇〇五) 示で定めるものを定める告示の一部 ○道路運送車両の保安基準の細目を定

める告示の一部を改正する告示

(国土交通一〇〇二)

官

○道路運送車両の保安基準第五十五条

第一項に規定する国土交通大臣が告

示で定めるものを定める告示の一部

第三種郵便物認可明治二十五年三月三十一日

 \bigcirc

 \triangleright

0

(号外)

の保安基準の規定の適用に関し必要 る告示(同一〇〇七) な事項を定める告示の される自動車に対する道路運送車両 一部を改正す

○沖縄県の区域において運行の用に供

元

令

省

○国土交通省令第八十一号

・条の二第一項及び第七項並びに第七十五条の三第一項の規定に基づき、並びに同法を実施するため、 道路運送車両の保安基準及び装置型式指定規則の一部を改正する省令を次のように定める。 場合を含む。)、第四十二条 (同法第九十九条において準用する場合を含む。)、第四十四条、第七十五 道路運送車両法(昭和二十六年法律第百八十五号)第四十一条(同法第九十九条において準用する

平成十五年七月七日 道路運送車両の保安基準及び装置型式指定規則の一部を改正する省令

国土交通大臣

(道路運送車両の保安基準の一部改正)

一条第一項第十一号中「別表第一」を「別表」に改める。 道路運送車両の保安基準 (昭和二十六年運輸省令第六十七号)の一部を次のように改正する。

第九条第一項中「走行装置」の下に(空気入ゴムタイヤを除く。)」を、もの」の下に「として、 第一条の三中「第十五条第一号の二」を「第十五条第二項」に改める。

強度等に関し告示で定める基準に適合するもの」を加え、同条第二項を次のように改める。 めに係る性能等に関し告示で定める基準に適合するものでなければならない。 自動車の空気入ゴムタイヤは、堅ろうで、安全な運行を確保できるものとして、強度、 滑り止

第九条第三項中「且つ」を「かつ」に改める。

超える」に改める。 性能等に関し告示で定める基準に適合するもの」に、三十五度をこえる」を「告示で定める角度を 改め、同項各号を削り、同条第二項中「少ない構造」を「少ないものとして、運転者の保護に係る るものとして、強度、操作性能等に関し告示で定める基準に適合するものでなければならない」に 第十一条第一項中「左の基準に適合しなければならない」を「堅ろうで、安全な運行を確保でき

同項の次に次の一項を加える。 ものとして、構造、施錠性能等に関し告示で定める」に改め、同項ただし書及び同項各号を削り、 を「その作動により施錠装置を備えた装置の機能を確実に停止させ、かつ、安全な運行を妨げない 両総重量が三・五トンを超える自動車及び被牽引自動車を除く。)」を加え、同条第二項中「次の」 を「自動車及び被牽引自動車」に改め、「除く。)」の下に「及び貨物の運送の用に供する自動車 (車 第十一条の二の見出しを「(施錠装置等)」に改め、同条第一項中「もつぱら」を「専ら」に、もの」

三輪自動車、カタピラ及びそりを有する軽自動車並びに被牽引自動車を除く。)及び貨物の運送の 専ら乗用の用に供する自動車 (乗車定員十人以上の自動車、二輪自動車、側車付二輪自動車)

置をいう。)は、その作動により原動機その他運行に必要な装置の機能を確実に停止させ、 用に供する自動車 (車両総重量が二トンを超える自動車、三輪自動車及び被牽引自動車を除く。) なければならない。 安全な運行を妨げないものとして、構造、 に備えるイモビライザ(原動機その他運行に必要な装置の機能を電子的方法により停止させる装 施錠性能等に関し告示で定める基準に適合するもので かつ、

合する」を加え、被けん引自動車」を「被牽引自動車」に改める。 第十四条中「確保できる」の下に「ものとして、強度、緩衝性能等に関し告示で定める基準に適

同条各号を削り、同条に次の一項を加える。 第十五条中「次の基準に適合しなければならない」を「燃料への引火等のおそれのないものとし | 取付方法等に関し告示で定める基準に適合するものでなければならない」に改め、

する普通自動車又は小型自動車若しくは軽自動車(乗車定員十一人以上の自動車、車両総重量が 一・八トンを超える自動車、二輪自動車、 ガソリン、灯油、軽油、アルコールその他の引火しやすい液体を燃料とする専ら乗用の用に供 側車付二輪自動車並びにカタピラ及びそりを有する軽